

レ・クレドール ジャパン会報誌 “キー・ニュース”

Les Clefs d'Or Japan

Key News



2022年8月 第56号

発行：住吉真矢子

編集：田中英司 今泉愛子 嵯峨崎のぞみ

Website : lesclefsdorjapan.com



Les Clefs d'Or Japan



[lesclefsdorjapan](https://www.instagram.com/lesclefsdorjapan)

TRUNK (HOUSE) 神楽坂訪問

By Marie Antoinette Mori

さる6月、7名のメンバーが神楽坂のTRUNK (HOUSE)で開催された特別な内覧会に参加する機会を頂きました。神楽坂はかつて花街として発展し、江戸時代から続く料亭をはじめとする古い日本建築や石畳が今でも残り、古いものと新しいものが混在した、様々な文化が混じり合う魅力的な街です。

そんな神楽坂のかくれんぼ横丁と呼ばれる裏路地に入ると、TRUNK(HOUSE)があります。築70年の料亭をリノベーションしたこの施設は料亭「山路」の看板が残されており、神楽坂の街並みに溶け込んでいます。控えめにTRUNKのロゴが入った暖簾をくぐると、リノベーションされた内装は繊細で美しく、独特の空気感で訪問者を迎えてくれます。

はじめに葛飾区の三味線職人として数々の受賞歴を持ち、葛飾伝統工芸協会の新理事長でもある河野公昭様より銅板、昭江戸切子、羽子板、印伝、和包丁、能面、たわし、銀器、三味線など、「次世代に受け継ぐ」という共通の目的のもと、葛飾区立石周辺に多く集まる伝統工芸品の数々についてお話を伺いました。河野様のお話しの中では、後継者不足や材料の調達の難しさや現代の生活スタイルに合った新しいデザインを生み出すことの難しさも伺いました。



その後、今回のイベントの主催者でもあるTRUNK(HOUSE)の杉本博則様による施設の内覧ツアーが行われました。施設内には国内外の著名なアーティストが手掛けた伝統と現代が融合された斬新でダイナミックなアート作品が多く飾られています。アールデコ調の富士山のステンドグラス、丸い障子窓等、伝統的な内装に現代的なアレンジが加えられた調度品が飾られ、モダンなインテリアに良く馴染んでいます。



隠し扉を抜けるとそこは2階の宿泊エリアでした。囲炉裏のある和室、浮世絵のタイルを敷き詰めた檜風呂など和を感じられるモダンなデザイン。家具や照明器具はシンプルかつ機能的、アメニティはエコでスタイリッシュ、かつ高級感を感じられるものが並んでいます。小粋でありながら、ノスタルジックな雰囲気を持つ魅惑的な空間となっております。



施設内には4名がけのバーカウンター、ネオンサイン、ミラーボールのある小さなディスコルームも潜んでいます。ここではドンペリニヨンの醸造最高責任者を28年務めたリシャル・ジョフロア氏が手掛けた富山県株式会社白岩の最高級の日本酒であるIWA5が振舞われました。その後はメインダイニングにて、オープンキッチンで用意された華やかな懐石料理を厳選された日本酒や日本茶と一緒に楽しみました。芸者さんによる三味線や舞い、お座敷遊びを堪能し、江戸時代の神楽坂にタイムトリップしたような特別な体験をさせていただきました。

神楽坂の石畳の裏路地にひっそりと佇むTRUNK(HOUSE)は、都心にありながらまるで宝物を発見したような魅力であふれた空間でした。宿泊は専属シェフと24時間バトラーサービスが備えられ2名1泊50万円～（サ税別）。日本酒、ワインやお茶などのドリンクペアリングも一緒に味わえる厳選された食材をふんだんに使った季節感溢れるディナーコースを始め、軽食もご希望に沿って用意していただけます（別途料金）。また、オプションとして芸者体験や他の文化体験も楽しむことが出来、日本らしい伝統的な、そして他にはない特別なオンリーワンの体験を求めているお客様に是非お勧めです。



長野県 塩尻市 視察

文：亀井 理世

2022年7月11日、12日の2日間、株式会社奈良井まちやど様の主催にて、長野県塩尻市にある奈良井宿、木曽平沢、桔梗が原ワインバレーへの視察が行われ、レ・クレドールメンバー9名が参加しました。今回訪問したこのエリアは、江戸時代に五街道の一つとして整備された中山道にあります。中山道は、全長534キロ。江戸の日本橋から京都三条大橋までを山側で繋ぐ街道で、奈良井宿は、その中山道六十九次のちょうど真ん中に位置する宿場町。昔は、江戸から奈良井宿までは、歩いて8日前後かかっていたようですが、現在では、東京から特急列車を乗りつぎ約3時間ほどで簡単に訪れることができます。

まず初めに訪れたのは、奈良井まちやど様が運営し、今回、私達が宿泊をさせていただいたBYAKU Naraiです。“百の物語に出会う宿”として2021年8月に開業。本館は、200年以上の歴史を持つ“杉の森酒造”を前身とした文化財建築で、酒蔵を改修し、客室、レストラン、バー、大浴場、suginomori breweryを併設しています。別館を含む全12室のお部屋は、間取りが異なり、趣のある空間を存分に味わうことができます。レストランに隣接しているsuginomori breweryは、マイクロブルワリーとして完全手作業での酒造りをされています。レストラン 嵩（くら）は、ミシュランガイドでも有名な“傳”店主 長谷川氏が監修、現地の習慣、郷土食を新しい角度から捉え、自然の恵みを生かしたお料理を提供されていました。

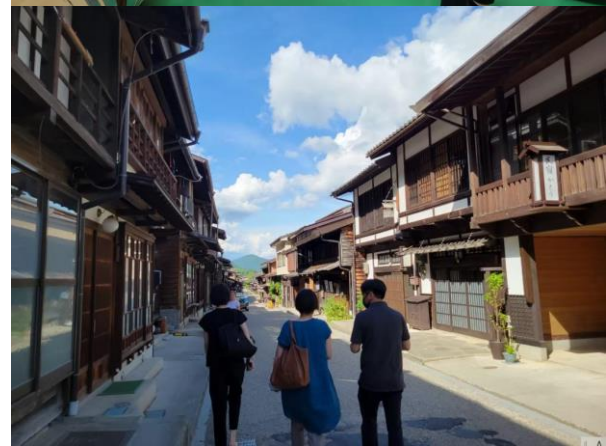


曇り空から始まった2日目は、中仙道ガイドをされている奥様のご案内による 奈良井宿の散策からスタート。奈良井川沿いを緩やかに下る約1キロの街並みは、日本最長の宿場で、江戸時代には多くの旅人で栄え、「奈良井千軒」と謳われたそうです。江戸時代にタイムスリップしたかのような、情緒溢れる街並みがとても魅力的でした。国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、今も多くの人々がこの場所で生活を営んでいるそうです。

次に漆工町 木曽平沢を訪れました。伊藤寛治商店では、木曽漆器の歴史や特徴について説明いただき、工房を見学しました。ガラスに漆を塗る技法を開発された丸嘉小坂漆器店では、繊細で色とりどりの美しい食器類にメンバー全員が釘付けになりました。

昼食後、日本ワインの先進地として有名な、桔梗ヶ原ワインバレーを訪問。1916年創業の信濃ワインでは、ワイン貯蔵庫を見学。2019年創業のDomaine KOSEIでは、メルロだけを育て、メルロだけを醸すワインづくりについてお話をうかがいました。

町や産業の発展に情熱をそぐ方々との交流は、学び多き大変貴重な2日間となりました。



竹内秀太氏を新メンバーとして承認

2022年7月に開催された審査委員会において、コンラッド東京 コンシェルジュ 竹内秀太氏を新メンバーとして承認いたしました。竹内氏は同ホテルから3人目のメンバーであり、レ・クレドールジャパン最年少メンバーです。竹内氏からのご挨拶のメッセージをお伝えいたします。

この度は、レ・クレドールメンバーにご承認いただきまして、誠にありがとうございます。

この瞬間を迎えるまで、長きに渡って支えてくださり、ご指導してくださった皆様に心から感謝しています。

そして、私の人生において、新たな一歩を踏み出すことができ、身の引き締まる思いです。

私にとってのコンシェルジュへの道、そしてレ・クレドールを目指すきっかけとなったのが、2015年8月に東京で開催された、「第9回レ・クレドール アジアン コンgress」でのひとときです。大変ありがたいことに、コンgressの一部に参加させていただく機会をいただきました。

今もなお、お世話になっている先輩コンシェルジュの皆様、レ・クレドール ジャパン、日本コンシェルジュ協会を支えてくださっている関係者の皆様との出会いと経験を通じて、自身のキャリアにおける、新たな扉が開いた瞬間でありました。



さらに常に学びと刺激があり、限界のないコンシェルジュの世界で、仕事を追求したい想いは次第に強くなっていき、会を通じた支え合いや協力関係にもとても魅力を感じていました。

現在のコンラッド東京でのキャリア、前職のザ・プリンスギャラリー東京紀尾井町、またそれ以前のかよう亭(石川県)と、恵まれた環境と、素晴らしいチームからの多大なるサポートなしには、今の私はありません。

これからも感謝と敬意の気持ちを大切に、コンシェルジュの仕事の魅力と素晴らしさを自らが体現し、次世代への継承と会の発展に貢献してまいります。



雅縁株式会社 7周年記念

文：今泉 愛子

6月26日、主に東京のホテルに所属するメンバーがレ・クレドールジャパンアフィリエイトの雅縁株式会社様の創業7周年記念イベントに出席して参りました。このイベントは本来は2020年に5周年のお祝いとして開催される予定でしたが、新型コロナウイルス蔓延の影響で延期され、今年遂に開催の運びとなりました。



雅縁株式会社様とコンシェルジュは豊富な経験と知識をもつ通訳案内士をお客様にご紹介することでこれまでも交流をして参りました。コロナ禍で海外からの観光客の訪日が途絶えていた2年間の間にも、代表の和田様の熱意は変わらず、所属ガイドさんへの研修や新規商品の開発などに力を注いでいらっしゃいました。その研修には淡路島や石川県等、私どもコンシェルジュも何度もお招きいただき、とても貴重な学びの場を提供して頂いております。

会は和田様からのご挨拶、雅縁株式会社様のこれまでの歩みや所属ガイドさんのご紹介、和田様が日ごろから築き上げてきた多方面からのご招待客の皆さまとの交流の時間と、華やかで実りの多い時間となりました。



Getting to know our members !

シャングリ・ラ東京

齋藤 美紀

Miki Saito



■ コンシェルジュ歴 15年
■ レ・クレドール歴 7年

■ **ホテルのハイライト** シャングリ・ラ 東京はシャングリ・ラ ホテル&リゾートの日本初のホテルで、丸の内トラストタワー本館、37階の最上階11フロアを占め、東京の中心、新幹線の起点である東京駅に隣接、皇居、丸の内へは徒歩圏内、銀座まではお車で5分という便利な立地です。16のスイートを含む200室のゲストルームをご用意しております。持続可能なやり方で色鮮やかな人生の喜びをおもてなしする。と言うコンセプトの元に家族をもてなすように、お客様をおもてなししています。

■ **休日の過ごし方** 最近では以前と比べると回数は減りましたが、友人と時間を過ごす事も、食べる事も好きなので、出来る限り友人と食事をする時間を作って過ごしています。話題になっているレストランに行ったり、サービスを受ける側になる事で、いろいろな気づきがあり、日々のサービスの参考にしています。大切な友人たちとの時間は日ごろの疲れも癒してくれる大切な時間です。

■ **とっておきの場所** 私のとっておきの場所は、我が家のベランダです。コロナ禍になり、自宅で過ごす時間が長くなった時、ベランダに出てみると、今まであまりゆっくりと眺めたことの無かった景色でしたが、意外と気分転換が出来る事に気が付きました。春は桜が見えたり、お天気の良い日は綺麗な夕焼けや、星空も見る事ができます。キャンプ用の椅子を買い、ベランダでお茶を入れて読書をしたりしています。写真はベランダからの夕焼けです。

■ **一番好きなレストラン** 好きなレストランは沢山ありすぎて、一番を決める事ができません。ですが、思い出のレストランとして今も心に残っているレストランは、香港のインターコンチネンタルホテルの中にある「SPOON by Alain Ducasse」です。いまから約15年ほど前、友人を訪ねて香港に行ったとき、お勧めを聞くと、コンシェルジュが紹介しているレストランとして教えてくれたのが「SPOON」でした。一皿一皿が大変美しく、とても印象的でした。サービスも心地よく、また来たい。と思えるレストランでした。



ホテル日航金沢

小島 久枝

Hisae Kojima

■ コンシェルジュ歴 28年
■ レ・クレドール歴 25年

■ **ホテルのハイライト** 北陸の城下町・金沢。加賀百万石の文化の香り漂うこの金沢の駅前に位置するノッポビルがホテル日航金沢です。高さ130.5m・地上30階を誇る当ホテルは、石川県のみならず北陸三県で最も高い高層ビルゆえ、上層階の客室やレストランからは素晴らしい眺望をお楽しみ頂けます。眼下に広がる瓦屋根の街並みや兼六園、遠くは日本海に沈む夕日や白山、立山連峰が皆様をお迎え致します。雄大な景色と共に心豊かな時間をお過ごし下さい。



■ **とっておきの場所** 雨晴海岸 地元高岡の自宅から日本海まで車で約20分。海岸に飛来する渡り鳥を撮影する主人にお供する事がしばしばあります。その中でも雨晴海岸からは、富山湾越しに立山連峰を望む事ができます。海面から一気に3000m峰が屹立する壮大な景観は世界でも珍しく(イタリア、チリ、富山のみ)山並みがくっきりと現れる好天の日には、季節、時間により変容する、その美しさに魅了されます。波の音を聞きながら時の経つのを忘れ、大きな地球に存在している小さな自分を感じる特別な場所です。



■ **休日の過ごし方** 自宅の庭仕事でストレス解消になっています。樹々の剪定をしたり、美しい草花を活けたり、庭石をアレンジしたりと好季節には一日の大半を庭で過ごす事もあります。きれいな湧き水に恵まれており、毎年、初夏には蛍が庭に現れてくれますが、今年は初めて蛍がケヤキの枝葉に電飾のように美しく舞う光景を見て感動いたしました。身体を動かしながら、土や植物、生物と共に過ごす時間は幸せで大切なひとときです！

■ **一番好きなレストラン** 海と山の幸に恵まれた金沢には、素晴らしいレストランが多くあります。そんな中で特別な店は金沢のフレンチレストランの老舗ラ・ネネグースです。もう20年以上前になりますが、コンシェルジュの後輩達より結婚祝いに手作りの招待状をもらい、希望日に伺った時には、彼女達からの可愛いアレンジフラワーとメッセージがテーブルに添えられていました。お仲間達の一生懸命さがとても印象的だったと言葉を下さったお店のマダムよりステキなサービスを受け、美味しく美しい心に残るディナーを頂きました。それ以降、幾度となく足を運び、加藤シェフと奥様(マダム)の新鮮な素材を活かした料理と洗練された心あるおもてなしにお腹も心も満たされています。



ハイブリッド定例会

7月

7月の定例会は、ハイブリッド方式になって初関西、ホテル日航プリンセス京都を会場に開催いたしました。主に関西メンバーが顔を合わせ、久しぶりの対面会合を楽しみました。

6月に開催された神楽坂TRUNK HOUSEの内覧視察会の報告がありました。

京都の細見美術館主任学芸員の伊藤京子様より、美術館の紹介と日本美術を愉しむ術を教えてくださいました。細見美術館は間もなく創立25周年を迎える個人所有の美術館で、細見家の日本美術を中心としたコレクションを堪能する事ができます。作品のコレクションは琳派の影響を受けたものが多く、琳派の巨匠について解説頂くと共に日本全国どここの美術館でどのような琳派の作品を見ることができるのか、お話を頂きました。また、日本美術の展覧会の楽しみ方、Whenいつの作品？ Where出身は？ Who/What誰の作品？ どんな作品？ Hは「ほしい」5W1Hにかけた内容は大変興味深いものでした。



8月

ハイブリッド定例会となってから最も多くのメンバーとアフィリエイトがパレスホテル東京の会場に集まりました。

新しくメンバーとなったコンラッド東京の竹内秀太氏より挨拶がありました。レ・クレドールジャパンの最年少メンバーとなり、今後の活躍が大いに期待されます。

九州旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部クルーズトレイン本部 ブランドマーケティング仲菜奈子様、徐芳美様、クルーの泉水瑞穂様より、九州の豪華寝台列車『ななつ星』についてのプレゼンテーションをしていただきました。『新たな人生にめぐり逢う、旅。』をコンセプトとし、豊かな九州の魅力を味わえるルート、豪華で日本の美を至る所に感じられる細部にまでこだわった内装、厳選された九州の四季折々の食材が九州の名だたる料理人から提供されるお料理やお酒、そしてクルーの方々の一流のおもてなしは、お客様にとっては忘れられない特別な体験になるであろうと確信しました。今後のお客様へのご案内にお話を役立てて参ります。

グランドハイアット東京 嵯峨崎氏よりホテルで行っているSDG'sの発表がありました。多岐にわたる取り組みは今後の参考となるものでした。



National Parks of Japan 中部山岳国立公園 Chubusangaku National Park



日本を代表する傑出した山岳景観

一息を飲む山並みと渓谷美、
そしてライチョウの世界に一

指定：昭和9年12月4日

面積：174,323ha

新潟県、富山県、長野県、岐阜県



レ・クレドール ジャパンは
国立公園のオフィシャル
パートナーです。



国立公園
オフィシャルパートナー

